

JA グループ香川との包括連携協力に関する協定を締結

6月6日、JAグループ香川と相互に協力し、香川県における農業振興並びに関連産業及び地域の発展に寄与していくことを目的として、包括連携協力に関する協定を締結しました。香川大学においては、学び直しプログラムに重点を置いた大学院改革に着手しており、香川県の発展に貢献いただく30代、40

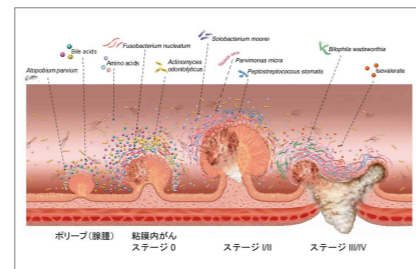
代の人材を育成していくこととしています。そのプログラムの一つにおいて、香川県の農業のあり方をデザインする人材も育成することがあります。香川大学において学び直した人材が香川県における新産業を創出し、香川県の活性化に貢献していただければと考えています。



メタゲノム・メタボローム解析により大腸がん発症関連細菌を特定 ～便から大腸がんを早期に診断する新技術～

大阪大学や香川大学などの研究グループは、メタゲノム解析により健康者と比較して、前がん病変や粘膜内がんを有する患者さんの便に特徴的な細菌を特定したことに加えて、メタボローム解析を行うことにより病期（病気の進行具合）に伴う腸内代謝物質の変動も検討し、大腸がん発症に関連する腸内環境を明

らかにしました。これにより、大腸がんを発症しやすい腸内環境が明らかとなり、大腸がんの予防につながる食事等の生活習慣や腸内環境を改善することにより大腸がんを予防する先制医療が期待されます。本研究結果は、米国科学誌「Nature medicine」に6月7日に発表されました。



瀬戸内国際芸術祭 2019 参加作品「演劇でみる小豆島のカタチ」出演者オーディション

8月と9月に小豆島の農村歌舞伎舞台上で上演される演劇の出演者オーディションが6月15日・16日の二日間にわたり、高松と小豆島で行われました。小学生から60代の方総勢22名の応募がありました。当日は、台本の読み合わせやチームを組んで実際に演じる審査もあり、シリアスな場面では迫真の演技もみられました。

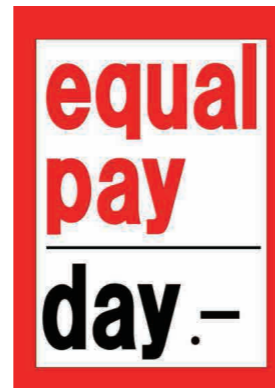
●夏公演
「トラと呼ばれたサル」8/24・25
午後5時開演、中山農村歌舞伎舞台
●秋公演
「蛙の池の今昔物語」9/28・29
午後5時30分開演 肥土山農村歌舞伎舞台
問い合わせ crenkeil@jim.ao.kagawa-u.ac.jp



Let's think together

equal pay day を知っていますか？
＝女性が男性と同じ賃金を手にする日
2019年は5月13日でした

平均賃金が男性より低い女性は、男性の年取分を手にするには、1年より何日も余計に働く必要があります。女性が余計に働いてようやく同額を手にする日、それが「イコール・ペイ・デイ」です。日本では、男性が2018年の1年間で得た賃金と同額を女性が手にするためには1年では足りず、2019年の5月13日まで4カ月と13日余計に働かなくてはならないのです。日本は男女賃金格差大国。OECDワースト3位（34位韓国・33位エストニア・32位日本）OECD2015データ <https://data.oecd.org/> 資料典拠：日本BPW連合会 <http://www.bpw-japan.jp>



香川大学では今後、全学でデザイン思考教育を取り入れていきます。ところで「デザイン」とは何でしょう？ そんな疑問に、創造工学部創造工学科造形・メディアデザインコース10人の先生方に、「デザイン」と「お一人ずつ決められたテーマ」をかけて、語っていただきました。（9回目 / 10シリーズ）

DESIGN× デザイン思考

創造工学部創造工学科造形・メディアデザインコース准教授
杉本洋一



ビジネスの世界で、デザイン思考が近年話題になっている。テクノロジーの進歩や社会変化が、今ほど早くなると、世の中を席巻している「モノ・コト・仕組み」も日進月歩で更新されていく。それをチャンスと捉えれば、新しい価値を生み出すイノベーションのアイデアをどうやって見つけ出すかが問題になる。そのとき、秘策のようなものとして期待されているのが、デザイン思考ではないだろうか。

しかし、デザイン思考を思考プロセスの作法として理解するとき、実践的な道具にして効果を引き出していくためには、その使い方に留意点があるように思う。このため、管見ではあるが、私なりの問題意識を3つ述べたい。

1つ目は、組み合わせれば、より実践的な道具になる。巷間有名なのは、スタンフォード大学 d.school の作法（※1）だが、ヨーロッパには、意味を問い直すことで価値創造につなげるデザイン・ドリブン・イノベーションという作法（※2）もある。この2つはアプローチの違いであり両者を選択的に使えるようになることが望まれる。

2つ目は、道具の良し悪しは使う人次第で変わる。ユングは、人の認識は主観的要因に制約されると考えた。人には心のクセがあり、タイプによって心の構え・知覚機能・判

断機能における利き手が異なると考えたのである（※3）。この自他の違いをメタ認知によって経験的に理解している人もいる。しかし、潜在ニーズの感知能力を集団レベルで高めていくためには、組織的な取り組みや教育が必要になると思う。

3つ目は、人と人との化学反応が大事になる。チームメンバーの学問分野の多様性が大きくなると、イノベーションは起こりやすくなる（※4）。加えて、メンバー間で自己理解・他者理解を深め、互いの心のクセを活かしあえるようになれば、なおさらだろう。天才はいなくても、表層的・深層的に多様性のあるチームメンバーが、信頼・互惠・つながりを感じながらデザイン思考の作法を使って協働するとき、たくさんの深いインターアクションが起こり、社会を革新するようなアイデアが生まれるかも知れない。

デザイン思考は、うまく使いこなせれば、イノベーションを生み出すための有用な道具になると思われる。いま、地域にとって役立つ道具にするための試みが、香川大学で始まっている。

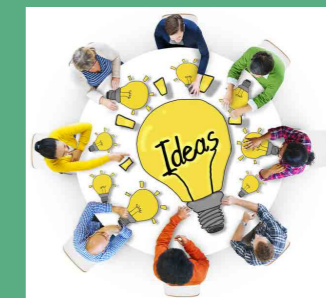
（※1）<https://dschool-old.stanford.edu/sandbox/groups/designresources/wiki/36873/attachments/74b3d/>

ModeGuideBOOTCAMP2010L.pdf, (参照 2019-05-09)

（※2）ベルガンティ、R., 佐藤典司監訳、岩谷昌樹・八重樫文監訳、訳：デザイン・ドリブン・イノベーション、クロスメディア・パブリッシング、2016。

（※3）ヘアマン、R. R., アルブリットン、S. C., 園田由紀訳：MBTIへのいざないーユングの「タイプ論」の日常への応用、JPP、2012。

（※4）Flemming, L.: Perfecting Cross-Pollination: How You Craft Cross-Functional Teams Depends on Your Appetite for Risk and Your Hunger for a Breakthrough, Harvard Business Review, 2004, 82(9), pp.22-24.



チーム SIGNAL 地域のお宝列車～東讃の「食」を辿る汽車旅～



引田でのまちあるき



車内でのツアーはじまりのあいさつ



さぬき市話楽会による、カンカン寿司の説明・実演



かめびし屋での醤油づくり体験・もろみ蔵見学



東かがわ活動隊さんとの交流



お見送りをしてくださる話楽会のみなさん

3月21日と4月13日に、『地域のお宝フルコース列車～東讃の「食」を辿る汽車旅～』と題したツアーを催行しました。今回のツアーは、『なぜ東讃の食文化は豊かなのか』を明らかにし「食」と「人」を通じて、東讃の新しい魅力を発見する。』というテーマで、JR高徳線が通る東かがわ市とさぬき市の「お宝」を詰め込みました。高松駅から引田駅までの車内では、地域活動団体が同乗し、地域の食を、お話を交えながら提供。さぬき

市話楽会さんにはアレンジ郷土料理「おりいぶカンカン寿司」を、東かがわ活動隊さんにはツアー特製の地元食を活かした「東かがわプチ御膳」を提供していただきました。東かがわ市引田では、まちあるきや醤油づくり体験などを楽しむ、という約半日の行程です。

お客様からは高い評価をいただくことができました。さらに、ご協力いただいた地域の方にも笑顔になっていただくことができ、大成

功のツアーだったと感じています。

今回のツアーを通して、実際にやってみなければ分からないことが多く、常に考え続けることが大切だと学びました。1回目の反省をふまえて、2回目は各団体が改善や工夫を加えて臨むことができ、満足度も高まったと思っています。企画段階から、地域を盛り上げたいという熱い思いが同じで、互いにそれらが伝わったからこそ、よりよい形で作り上げることができました。

わたしたちの最終目標はツアーの実施ではなく、東讃地域の活性化です。今回がきっかけとなり、今後、東讃に再度足を運んでくれる方が増えることや、新たな活動のはじまりとなれば良いと思います。

経済学部4年 富原京子



地域を盛り上げる旅のはじまりに合図を送りたいの思いから「合図」を意味するsignalから「チームSIGNAL」を結成。

まるかんガールズ 香川でココロとカラダすっきり「美」力アップツアー



かわだゆきみ先生によるヨガを体験中



今回のツアー会場となったオリーブ園(創樹)



菓膳の説明を受けています



菓膳を用いたお茶



オリーブを使用したミートパスタ



香川県産の食材を使用したランチ

このツアーは『心身ともにリラックス、体の中から健康・きれい』をコンセプトに企画しました。ツアーで得た知識を持ち帰り、日常生活に取り入れることで、「美」力アップに繋がってほしいという思いを込めています。また、オリーブに焦点を当てることで、うどんだけではなく香川の魅力を広く知ってもらおうと思いました。このツアーを企画するにあたり、先行事例や市場動向の調査、フィールドワークを行いました。ツアーの概要やコンセプトを決めたの

ち、ツアー提携先の方々のご協力のもと、企画内容や金額について話し合いを重ねました。そして、2018年9月に行われた最終審査会で銀賞をいただくことができました。

ツアーは、5月19日と5月25日の2日間で行い、約25名の20代から80代の幅広い年代の方が参加してくださいました。このツアーの行程は、オリーブ園(創樹)でオリーブについての効能や歴史を学んだ後、かわだゆきみ

先生を講師に迎え、オリーブの木々に囲まれてヨガを行います。ヨガの後は池田佳代子先生による菓膳教室を開き、LaSalute 中野シェフによる香川県産の食材を使い、菓膳を取り入れたイタリアンのランチを提供しました。ツアー後に行った参加者へのアンケートでは、「オリーブ園は想像以上に開放感があり、気持ちよかった」「菓膳教室でお話を聞き、興味を持ちながらランチを食べられて良かった」など、満足していただきました。地域の方々のご協力もあり、ツアーの商品化につなげ、実現できたこと、参加者の方々に満足していただいたことに、嬉しく思っています。企画することは難しさもありましたが、やりがいもありました。この活動で学んだことは、今後社会人になっても生かすことができると思い、私自身も貴重な経験となりました。

経済学部4年 徳永弥祥



集まったメンバーが丸亀市と観音寺市出身でしたので頭文字をとって「まるかん」ガールズに。

EVENT



6/5

法学部 成績優秀者表彰式

2～4年次生のうち、前年度1年間のGPA値が3.0以上で、規定の単位数を修得した学生を成績優秀者として表彰しています。今年度は35名の授賞者がおり32名が出席。表彰式では日頃の努力を称え一人ひとりに表彰状が授与されました。



6/7

自転車盗抑止キャンペーン

ロックの日(6/9)を前に、昨年に発足した防犯ボランティアサークル「香川大学防犯パトロール隊」のメンバーや高松北署員ら約35人が参加し、幸町キャンパスでワイヤロックと啓発チラシを配布。施錠の重要性を呼び掛けました。



6/14

南ボヘミア大学が表敬訪問

南ボヘミア大学の英語教員 Šárka Vrchotová(シャルカ・ヴァラフオトバ)先生と学生が、国際オフィス長を表敬訪問。香川大学と南ボヘミア大学とは大学間の学術交流協定を締結しており、教育学部を中心に活発に交流が行われています。

from International Office



ちきゅう見聞録



スペイン

農学部農学研究科
白井沙樹
トビタテ！留学JAPAN 地域人材コース第9期生
2018年9月～2019年2月まで留学



バルセロナにあるCrag(Centre for Research in Agricultural Genomics)という研究施設で植物病原菌について研究。植物病原菌の中でも青枯菌というナス科植物に感染する病原菌の研究をしていました。



カタルーニャ州は昔カタルーニャ君主国という一つの国でした。しかし、1714年の戦争後スペイン国家に自由を奪われました。その経緯からスペイン国籍でもカタルーニャ人はスペイン人ではないという意識が強く、カタラン語を話します。



バルセロナに来て驚いたのは登山好きのカタルーニャ人が多いということです。土日になると山もしくは海に行って休日を過ごす人が多いです。私も山にキノコ狩りに行ったり頻りに近所の山に登ったりしました。

read more

